

土木学会関西支部から組合に感謝状

小中高生対象の見学会で広報活動に貢献

結束体験コーナーなどを企画

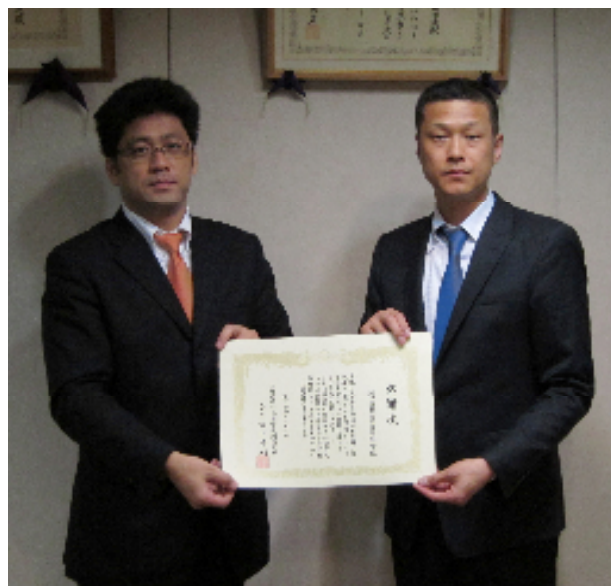
関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は4月11日、土木学会関西支部（田中清剛支部長）から感謝状をいただきました。昨年10月に同支部が主催した「小中高生対象見学会」への参画が評価されたもので、建団連会館で行われた贈呈式では、同支部・市民幹事会の吉田裕二幹事（日本工営）から岩田理事長に感謝状が贈られました。贈呈式には、戸田裕雄、田浦真一、田中勲の各副理事長も出席しました。

見学会は、阪神高速道路会社が建設を進めている阪神高速大和川線の工事現場などで行われ、鉄筋組合は同現場で職人による鉄筋組立のデモンストレーションや、子供たちに鉄筋を結束する体験、太さの違う鉄筋の重量当てクイズなどをしてもらい、見学後のアンケートでも「とても楽しく、おもしろかった」、「貴重な体験ができた」など参加者からも好評を博しました。

岩田理事長は「私たちは従来から建設技術展や出前講座などを通じて、学生や一般の方にも鉄筋工事の重要性とともに、ものづくりの楽しさを伝える活動を行っている。土木学会様とは建設技術展への出展がきっかけで交流が始まった。今回、鉄筋の体験スペースを設けていただいたことに感謝しており、組合にとって大変意義あるものだった。参加者のアンケートで、多くの方に楽しんでもらえたことが分かり、とてもうれしく思っている」と感想を述べました。吉田幹事も「見学会後のアンケートでも鉄筋組立の実演などに一番反応があった」と評価しました。

土木学会関西支部と鉄筋組合では、今後も見学会への参画をはじめ技術面での意見交換など様々な形で連携し、交流を深めていく予定です。

※アンケートの結果（抜粋）については次ページ参照



土木学会関西支部主催 小中高校生見学会 アンケート結果（抜粋）

2011年10月22日（土）12：00～18：00 参加者133名

アンケート結果

○ 今日の見学会で良かったものは何ですか？

- ・ 鉄筋組立の実演・体験・クイズ 88名

○ どんなところが良かったですか？ また、心に一番残っているのは？

鉄筋体験

- ・ 鉄筋組立実演を出来たのがとても楽しく、おもしろかった（同意見：他7件）
- ・ 鉄筋の組立の体験とクイズが一番良かった（同意見：他22件）
- ・ 鉄筋組立を丁寧に指導して頂き実体験ができたこと
- ・ 実演させてもらうのが珍しかった
- ・ 鉄筋組立の技術
- ・ 鉄筋がきれいに出来ていた
- ・ 鉄筋を組み立てるのが難しかったです
- ・ 子供に鉄筋体験はとても良い企画だと思いました
- ・ 鉄筋組立の体験、子供が楽しそうにやっていて良かった
- ・ 鉄筋組立の体験は子供が喜んでいて良かった。良い経験になったと思う
- ・ 鉄筋の実演はあざやか。子供は体験して上手くでき嬉しそうでした
- ・ 高速道路の深さ、鉄筋の組立が良かった
- ・ 鉄筋の結束が良かったです
- ・ 鉄筋組立は学校で実習するのをして手ごたえを感じた
- ・ 説明が分かりやすく興味を持てた。
- ・ 鉄筋を結束することで職人さんの技術の高さを感じました

○ 難しかったのはどんなところですか？

- ・ 鉄筋組立の実演・体験（同意見：他9件）
- ・ 重さの換算は大きすぎてよく分からなかった
- ・ 配筋の実演

○ その他に、今日の見学会の感想や質問など、聞きたい事があれば書いてください

- ・ 鉄筋を組み立てる人は凄かったです。体験も楽しかったです
- ・ 鉄筋組立の実演が、やった事なかったからできて良かった
- ・ 子供が鉄筋組立の体験、喜んでいました